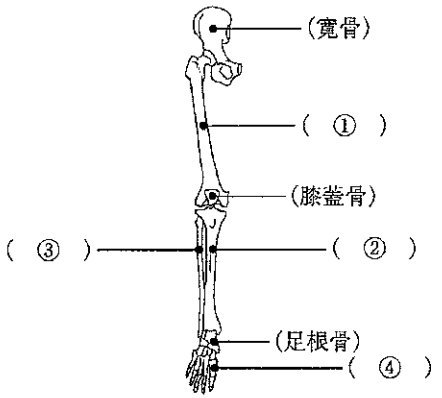
養護教諭　(60分)　その1

1　次の各問いに答えよ。

1　次の図は、下肢帯及び自由下肢の骨の図である。図の（　①　）～（　④　）に当てはまる骨の名称を書け。



2　体幹の軸となって身体を支えている脊柱は、椎骨が上下に連結してできる骨格である。椎骨について、①頸椎、②胸椎、③腰椎の椎骨の数を次の(ア)～(カ)からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

(ア)　3	(イ)　5	(ウ)　7	(エ)　9	(オ)　12	(カ)　15

2　公益財団法人　日本学校保健会が発行した「薬物乱用防止教室マニュアル－平成26年度改訂－」について、次の各問いに答えよ。

1　次の文は、学校の特性と薬物乱用防止に関する内容の一部である。（　①　）～（　④　）に当てはまる語句を書け。

・　薬物乱用の（　①　）のほとんどは10代に起こる。
・　一次予防では（　②　）と社会環境の改善がその具体的な手段となる。学校は6歳から18歳のほとんどすべての児童生徒を対象とし、その発達段階に対応して（　③　）な教育指導を行うことができる場であり、また、社会環境の改善に関しても学校は地域のなかで大きな役割を果たすことができる。
・　学校教育は（　④　）グループのみを対象とするのではなく、学校あるいは学級全員の児童生徒を対象とする。

2　次の文は、薬物について述べたものである。内容が正しいものには○を、間違った部分があるものには×を書け。

(1)　コカインについて規制する法律は、「麻薬及び向精神薬取締法」である。
(2)　「薬物」とは、法規制されている「麻薬」や「覚醒剤」のことのみをいう。
(3)　MDMAの乱用時には、血圧上昇の症状がみられる。

3　令和4年3月に一部改正された学校環境衛生基準について、次の各問いに答えよ。

1　次の表は、「第1　教室等の環境に係る学校環境衛生基準」の一部である。（　①　）～（　⑥　）に当てはまる数字を書け。

検査項目			基準
換気及び保温等	(1)　換気		換気の基準として、二酸化炭素は、（　①　）ppm以下であることが望ましい。
	(2)　温度		（　②　）℃以上、28℃以下であることが望ましい。
	(3)　相対湿度		30%以上、80%以下であることが望ましい。
	(4)　浮遊粉じん		（　③　）mg／m^3以下であること。
	(5)　気流		0.5m／秒以下であることが望ましい。
	(6)　一酸化炭素		（　④　）ppm以下であること。
	(7)　二酸化窒素		0.06ppm以下であることが望ましい。
	(8)　揮発性有機化合物		
		ア．ホルムアルデヒド	（　⑤　）μg／m^3以下であること。
		イ．トルエン	（　⑥　）μg／m^3以下であること。

2　学校において、必要があるときは臨時検査を行うものとされているが、どのような場合か。示されている四つの場合のうち、「新築、改築、改修等及び机、いす、コンピュータ等新たな学校用備品の搬入等により揮発性有機化合物の発生のおそれがあるとき」「その他必要なとき」以外の二つを書け。

4　公益財団法人　日本学校保健会が発行した「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引－令和3年度改訂－」について、次の各問いに答えよ。

1　次の文は、養護教諭が行う健康相談についての内容である。（　①　）～（　④　）に当てはまる語句を書け。

養護教諭は、職務の（　①　）から児童生徒の心身の（　②　）を発見しやすい立場にあることから、いじめや児童虐待などの早期発見、（　③　）に果たす役割や、健康相談や保健指導の必要性の判断、受診の必要性の判断、医療機関などの地域の関係機関等との連携における（　④　）の役割などが求められている。

2　次の図は、健康相談のプロセスについて示している。（　①　）（　②　）に当てはまる内容を書け。

1　対象者の把握（相談の必要性の判断）
▼
2　（　①　）
▼
3　（　②　）
▼
4　実施・評価

養護教諭　　その2

5　小学校保健教育参考資料「改訂『生きる力』を育む小学校保健教育の手引」（平成31年3月文部科学省）では、小学校体育科保健領域、中学校保健体育科保健分野、高等学校保健体育科「科目保健」の学習について、学習内容が体系的に位置付けられている。次の図の（　①　）～（　⑤　）に当てはまる語句を下の(ア)～(キ)からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

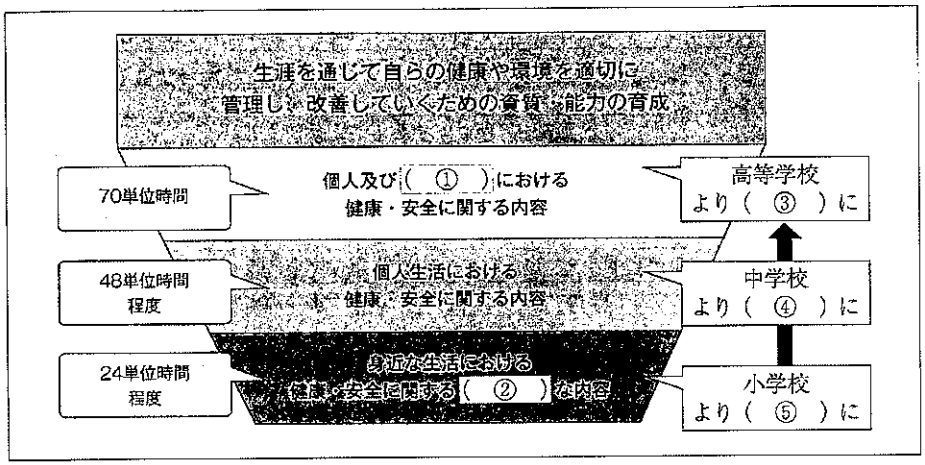


図　保健における体系イメージ

(ア)　総合的　　(イ)　発展的　　(ウ)　科学的　　(エ)　集団生活　　(オ)　基礎的
(カ)　実践的　　(キ)　社会生活

6　公益財団法人　日本学校保健会が発行した「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成27年度改訂」について、次の各問いに答えよ。

1　健康診断実施上の留意点について、次の（　①　）～（　⑤　）に当てはまる語句を書け。

ア　健康診断の（　①　）体制
イ　検査の項目
ウ　（　②　）の保護及び（　③　）の管理
エ　（　④　）への配慮
オ　（　⑤　）の健康診断

2　聴力検査について、次の各問いに答えよ。

(1)　次の文は、「方法及び技術的基準」の一部である。（　①　）～（　④　）に当てはまる語句を書け。

方法

1　選別聴力検査は聞こえのよい耳から始めるが、どちらがよく聞こえるか分からないときは（　①　）から始める。
2　受話器を被検査者の耳に密着させる。
3　まず1,000Hz（　②　）dBの音を聞かせ、聞こえるかどうか応答させる。応答が不明瞭なときには断続音を用いて音を切ったり、出したりして応答を求める。明確な応答が得られたら4,000Hz（　③　）dBの音を聞かせ応答を確かめる。応答は応答ボタンを押すか手を挙げるなどの合図で行わせる。
※検査は可能な限り静寂な部屋で、（　④　）行うのが望ましい。

(2)　500Hzの閾値をadB、1,000Hzの閾値をbdB、2,000Hzの閾値をcdBとするとき、a、b、cを使用して、平均聴力を算出する式を書け。

養護教諭　　解答用紙

受験番号　　番

1 [ ]

1	①		②	
	③		④	
2	①		②	③

2 [ ]

1	①		②	
	③		④	
2	(1)		(2)	(3)

3 [ ]

1	①		②	③	
	④		⑤	⑥	
2					

4 [ ]

1	①		②	
	③		④	
2	①			
	②			

5 [ ]

①		②		③
④		⑤		

6 [ ]

1	①		②	
	③		④	
	⑤			
2	(1) ①		②	
	(1) ③		④	
	(2)	平均聴力　=		

養護教諭　　解答用紙

受験番号　　番

1 [18]

1	①	大腿骨 3	②	脛骨 3			
	③	腓骨 3	④	中足骨 3			
2	①	(ウ) 2	②	(オ) 2	③	(イ) 2	

2 [14]

1	①	きっかけ 2	②	健康教育 2			
	③	系統的 2	④	ハイリスク 2			
2	(1)	○ 2	(2)	× 2	(3)	○ 2	

3 [20]

1	①	1500 2	②	18 2	③	0.10 2	
	④	6 2	⑤	100 2	⑥	260 2	
2	感染症又は食中毒の発生のおそれがあり、また、発生したとき 4						
	風水害等により環境が不潔になり又は汚染され、感染症の発生のおそれがあるとき 4						

4 [16]

1	①	特質 2	②	健康課題 2			
	③	早期対応 2	④	コーディネーター 2			
2	①	課題の背景の把握 4					
	②	支援方針・支援方法の検討 4					

5 [10]

①	(キ) 2	②	(オ) 2	③	(ア) 2		
④	(ウ) 2	⑤	(カ) 2				

6 [22]

1	①	実施 2	②	プライバシー 2			
	③	個人情報 2	④	男女差 2			
	⑤	臨時 2					
2	(1)	①	右耳 2	②	30 2		
		③	25 2	④	一人ずつ 2		
	(2)	平均聴力 $= \frac{(a+2b+c)}{4}$ 4					